

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 4 月 16 日 (2009.4.16)

【公開番号】特開 2007-295554 (P2007-295554A)

【公開日】平成 19 年 11 月 8 日 (2007.11.8)

【年通号数】公開・登録公報 2007-043

【出願番号】特願 2007-95416 (P2007-95416)

【国際特許分類】

H 0 3 M 1/08 (2006.01)

【F I】

H 0 3 M 1/08 A

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 2 月 27 日 (2009.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

周期性の高いアナログ入力信号が入力されるアナログ／デジタル変換器と、  
 所定の周波数帯域にてノイズを発生する帯域ノイズ発生器と、  
 この帯域ノイズ発生器にて発生したノイズを前記アナログ／デジタル変換器の入力信号に加算するための加算器と、  
 前記アナログ／デジタル変換器によって変換したデジタル信号を基にデジタル処理を行うデジタル処理部と、  
前記アナログ／デジタル変換器の入力側に設けられた電圧制御発振器と、  
前記デジタル処理部の出力側に設けられたデジタル／アナログ変換器と、 を備え

、  
 前記帯域ノイズ発生器から出力されるノイズの周波数帯域は、前記デジタル処理部におけるデジタル信号処理に影響を及ぼさない帯域であり、

前記デジタル処理部により処理された信号を前記デジタル／アナログ変換器を介して電圧制御発振器に帰還することにより PLL ループを形成することを特徴とするデジタル処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明のデジタル処理装置は、  
 周期性の高いアナログ入力信号が入力されるアナログ／デジタル変換器と、  
 所定の周波数帯域にてノイズを発生する帯域ノイズ発生器と、  
 この帯域ノイズ発生器にて発生したノイズを前記アナログ／デジタル変換器の入力信号に加算するための加算器と、  
 前記アナログ／デジタル変換器によって変換したデジタル信号を基にデジタル処理を行うデジタル処理部と、  
前記アナログ／デジタル変換器の入力側に設けられた電圧制御発振器と、

前記デジタル処理部の出力側に設けられたデジタル／アナログ変換器と、 を備え

、  
前記帯域ノイズ発生器から出力されるノイズの周波数帯域は、前記デジタル処理部におけるデジタル信号処理に影響を及ぼさない帯域であり、

前記デジタル処理部により処理された信号を前記デジタル／アナログ変換器を介して電圧制御発振器に帰還することによりPLLループを形成することを特徴としている。

本発明の具体的な態様としては例えばPLL装置を挙げることができる。このようなPLL装置としては、例えば周波数シンセサイザを挙げることができる。